

少し長めの文章記述問題です。この問題では、「本来戦争の道具になる核実験や核兵器が戦争を避ける手段になる」という、一見すると矛盾した考え方が冷戦時代には成り立っていたことを前提に、その理由を分かりやすく説明することが求められています。

たとえば、冷戦時代にある国（A国とします）が核保有国（B国とします）に戦争をしかけたいとしましょう。その時A国は、B国が保有している核兵器を素早く破壊しない限り、もし反撃として一発でもB国から核兵器を撃ち込まれば、壊滅的な被害を受けることとなります。国際世論の目もあるので、実際に核兵器が戦争で使用される可能性は限りなく低いかもしれませんが、いざ戦争となれば万が一にもそうなる可能性があるというだけで、A国に戦争を思いとどまらせる理由の一つになるというわけです。これを国際政治の用語では「核抑止力」と言います。

2012年末、北朝鮮が人工衛星と称するミサイルの打ち上げに成功したというニュースは記憶に新しいところですが、北朝鮮が国際社会からの批判を無視してでも核実験やミサイル開発を強行するのは、アメリカという大国に対して「核抑止力」を維持し、対等な立場で外交交渉を有利に進めたいという意図があるとも言われています。

こうした国際政治の問題では、歴史的な背景や時事的な要素に着目するとともに、問題文の中で与えられたヒントを手がかりに、自分で思考することが重要になります。また、前後の語句や文字数が指定されている場合、それに合うように文章を構成する力が求められることは言うまでもありません。

[平成 22 年度出題]

解答例 (自国が核兵器を持てば)

他国が核兵器による仕返しをおそれ、
先制攻撃をしてこなくなる **29 字**

(と考えたから。)